

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公開番号】特開2002-254750(P2002-254750A)

【公開日】平成14年9月11日(2002.9.11)

【出願番号】特願2001-60837(P2001-60837)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 21/00 (2006.01)**

**B 4 1 J 3/60 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 21/00 Z

B 4 1 J 3/00 S

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月20日(2008.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 用紙の表面に印刷する表面用イメージを発生する第 1 のイメージ発生手段と、

前記用紙の裏面に印刷するイメージの種類内容を示す識別用イメージを発生する第 2 のイメージ発生手段と、

前記第 1 のイメージ発生手段および前記第 2 のイメージ発生手段によりそれぞれ発生された表面用イメージおよび識別用イメージを該用紙の表面に印刷する第 1 の印刷手段と

を具備したことを特徴とするカード作成装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のカード作成装置において、前記識別用イメージはバーコードの形態であることを特徴とするカード作成装置。

【請求項 3】 請求項 1 または請求項 2 に記載のカード作成装置において、前記第 1 のイメージ発生手段は、印刷すべき前記表面イメージを編集可能であることを特徴とするカード作成装置。

【請求項 4】 用紙の表面に印刷された識別用イメージであって、該用紙の裏面に印刷する裏面用イメージの種類内容を示す識別用イメージを読み取るイメージ読み取り手段と、

当該読み取られた識別用イメージの示す種類内容の裏面用イメージを発生する第 3 のイメージ発生手段と、

当該発生された裏面用イメージを前記用紙の裏面に印刷する第 2 の印刷手段とを具備したことを特徴とするカード作成装置。

【請求項 5】 請求項 4 に記載のカード作成装置において、前記用紙の裏面に印刷するイメージに関連付けて、前記識別用イメージの示す種類内容を示す識別情報を設定する設定手段と、前記イメージ読み取り手段により読み取られた識別用イメージの示す識別する識別手段と、該識別手段の識別結果と前記設定手段により設定された識別情報とを前記用紙の裏面へのイメージの印刷に先立って照合する照合手段とをさらに具備したことを特徴とするカード作成装置。

【請求項 6】 請求項 5 に記載のカード作成装置において、前記照合手段の照合結果が一致の場合に、前記第 2 の印刷手段が前記裏面用イメージを印刷することを特徴とするカード作成装置。

【請求項 7】 請求項 4 ~ 請求項 6 のいずれかに記載のカード作成装置において、前記識別用イメージはバーコードの形態であることを特徴とするカード作成装置。

【請求項 8】 請求項 4 ~ 請求項 7 のいずれかに記載のカード作成装置において、前記第 3 のイメージ発生手段は、印刷すべき前記裏面イメージを編集可能であることを特徴とするカード作成装置。

【請求項 9】 用紙の表面に印刷する表面用イメージを発生する第 1 のイメージ発生手段と、

該用紙の裏面に印刷するイメージの種類内容を示す識別用イメージを発生する第 2 のイメージ発生手段と、

前記第 1 のイメージ発生手段および前記第 2 のイメージ発生手段によりそれぞれ発生された表面用イメージおよび識別用イメージを該用紙の表面に印刷する第 1 の印刷手段と、前記用紙に印刷された識別用イメージを読み取るイメージ読み取り手段と、当該読み取られた識別用イメージの示す種類内容の裏面用イメージを発生する第 3 のイメージ発生手段と、

当該発生された裏面用イメージを前記用紙の裏面に印刷する第 2 の印刷手段とを具えたことを特徴とするカード作成装置。

【請求項 10】 請求項 9 に記載のカード作成装置において、前記用紙の表面に印刷する表面用イメージに関連付けて、前記識別用イメージの示す種類内容を示す識別情報を設定する設定手段をさらに有し、該識別情報に基づいて前記識別用イメージ発生手段は識別用イメージを発生することを特徴とするカード作成装置。

【請求項 11】 請求項 10 に記載のカード作成装置において、前記識別情報は、前記用紙の裏面に印刷するイメージに対しても関連付けてられており、前記イメージ読み取り手段により読み取られた識別用イメージの示す識別する識別手段と、該識別手段の識別結果と前記設定手段により設定された識別情報とを前記用紙の裏面へのイメージの印刷に先立って照合する照合手段とをさらに具えたことを特徴とするカード作成装置。

【請求項 12】 請求項 11 に記載のカード作成装置において、前記照合手段の照合結果が一致の場合に、前記第 2 の印刷手段が前記裏面用イメージを印刷することを特徴とするカード作成装置。

【請求項 13】 請求項 9 ~ 請求項 12 のいずれかに記載のカード作成装置において、前記識別用イメージはバーコードの形態であることを特徴とするカード作成装置。

【請求項 14】 請求項 9 ~ 請求項 13 のいずれかに記載のカード作成装置において、前記第 1 のイメージ発生手段は、印刷すべき前記表面イメージを編集可能であり、前記第 3 のイメージ発生手段は、印刷すべき前記裏面イメージを編集可能であることを特徴とするカード作成装置。

【請求項 15】 カード作成装置により作成したイメージを用紙に印刷するカード作成方法において、

前記用紙の表面に印刷する表面用イメージを発生する第 1 のイメージ発生ステップと、

前記用紙の裏面に印刷するイメージの種類内容を示す識別用イメージを発生する第 2 のイメージ発生ステップと、

前記第 1 のイメージ発生ステップおよび前記第 2 のイメージ発生ステップによりそれぞれ発生された表面用イメージおよび識別用イメージを該用紙の表面に印刷する第 1 の印刷ステップと

を具えたことを特徴とするカード作成方法。

【請求項 16】 カード作成装置により作成したイメージを印刷するカード作成方法において、用紙の表面に印刷する表面用イメージを発生する第 1 のイメージ発生ステップと、

該用紙の裏面に印刷するイメージの種類内容を示す識別用イメージを発生する第 2 のイメージ発生ステップと、

前記第 1 のイメージ発生ステップおよび前記第 2 のイメージ発生ステップによりそれぞれ発生された表面用イメージおよび識別用イメージを該用紙の表面に印刷する第 1 の印刷

ステップと、

前記用紙に印刷された識別用イメージを読み取るイメージ読み取りステップと、  
当該読み取られた識別用イメージの示す種類内容の裏面用イメージを発生する第3のイメージ発生ステップと、

当該発生された裏面用イメージを前記用紙の裏面に印刷する第2の印刷ステップと  
を具えたことを特徴とするカード作成方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2の発明は、請求項1に記載のカード作成装置において、前記識別用イメージは  
バーコードの形態であることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項3の発明は、請求項1または請求項2に記載のカード作成装置において、前記第  
1のイメージ発生手段は、印刷すべき前記表面イメージを編集可能であることを特徴とす  
る。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項4の発明は、用紙の表面に印刷された識別用イメージであって、該用紙の裏面に  
印刷する裏面用イメージの種類内容を示す識別用イメージを読み取るイメージ読み取り手  
段と、当該読み取られた識別用イメージの示す種類内容の裏面用イメージを発生する第3  
のイメージ発生手段と、当該発生された裏面用イメージを前記用紙の裏面に印刷する第2  
の印刷手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項5の発明は、請求項4に記載のカード作成装置において、前記用紙の裏面に印刷  
するイメージに関連付けて、前記識別用イメージの示す種類内容を示す識別情報を設定す  
る設定手段と、前記イメージ読み取り手段により読み取られた識別用イメージの示す識別  
する識別手段と、該識別手段の識別結果と前記設定手段により設定された識別情報とを前  
記用紙の裏面へのイメージの印刷に先立って照合する照合手段とをさらに具えたことを特

徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 6 の発明は、請求項 5 に記載のカード作成装置において、前記照合手段の照合結果が一致の場合に、前記第 2 の印刷手段が前記裏面用イメージを印刷することを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 7 の発明は、請求項 4 ～ 請求項 6 のいずれかに記載のカード作成装置において、前記識別用イメージはバーコードの形態であることを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 8 の発明は、請求項 4 ～ 請求項 7 のいずれかに記載のカード作成装置において、前記第 3 のイメージ発生手段は、印刷すべき前記裏面イメージを編集可能であることを特徴とする。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 9 の発明は、用紙の表面に印刷する表面用イメージを発生する第 1 のイメージ発生手段と、該用紙の裏面に印刷するイメージの種類内容を示す識別用イメージを発生する第 2 のイメージ発生手段と、前記第 1 のイメージ発生手段および前記第 2 のイメージ発生手段によりそれぞれ発生された表面用イメージおよび識別用イメージを該用紙の表面に印刷する第 1 の印刷手段と、前記用紙に印刷された識別用イメージを読み取るイメージ読み取り手段と、当該読み取られた識別用イメージの示す種類内容の裏面用イメージを発生する第 3 のイメージ発生手段と、当該発生された裏面用イメージを前記用紙の裏面に印刷する第 2 の印刷手段とを具えたことを特徴とする。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0017】

請求項10の発明は、請求項9に記載のカード作成装置において、前記用紙の表面に印刷する表面用イメージに関連付けて、前記識別用イメージの示す種類内容を示す識別情報を設定する設定手段をさらに有し、該識別情報に基づいて前記識別用イメージ発生手段は識別用イメージを発生することを特徴とする。

## 【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0018】

請求項11の発明は、請求項10に記載のカード作成装置において、前記識別情報は、前記用紙の裏面に印刷するイメージに対しても関連付けてられており、前記イメージ読み取り手段により読み取られた識別用イメージの示す識別する識別手段と、該識別手段の識別結果と前記設定手段により設定された識別情報とを前記用紙の裏面へのイメージの印刷に先立って照合する照合手段とをさらに具えたことを特徴とする。

## 【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0019】

請求項12の発明は、請求項11に記載のカード作成装置において、前記照合手段の照合結果が一致の場合に、前記第2の印刷手段が前記裏面用イメージを印刷することを特徴とする。

## 【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0020】

請求項13の発明は、請求項9～請求項12のいずれかに記載のカード作成装置において、前記識別用イメージはバーコードの形態であることを特徴とする。

## 【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0022】

請求項14の発明は、請求項9～請求項13のいずれかに記載のカード作成装置において、前記第1のイメージ発生手段は、印刷すべき前記表面イメージを編集可能であり、前記第3のイメージ発生手段は、印刷すべき前記裏面イメージを編集可能であることを特徴とする。

## 【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0023  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0023】

請求項15の発明は、カード作成装置により作成したイメージを用紙に印刷するカード作成方法において、前記用紙の表面に印刷する表面用イメージを発生する第1のイメージ発生ステップと、前記用紙の裏面に印刷するイメージの種類内容を示す識別用イメージを発生する第2のイメージ発生ステップと、前記第1のイメージ発生ステップおよび前記第2のイメージ発生ステップによりそれぞれ発生された表面用イメージおよび識別用イメージを該用紙の表面に印刷する第1の印刷ステップとを具えたことを特徴とする。

【手続補正19】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0024  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正20】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0025  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正21】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0026  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正22】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0027  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正23】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0028  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正24】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0029  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正25】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0030  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正26】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0031  
【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

請求項16の発明は、カード作成装置により作成したイメージを印刷するカード作成方法において、用紙の表面に印刷する表面用イメージを発生する第1のイメージ発生ステップと、該用紙の裏面に印刷するイメージの種類内容を示す識別用イメージを発生する第2のイメージ発生ステップと、前記第1のイメージ発生ステップおよび前記第2のイメージ発生ステップによりそれぞれ発生された表面用イメージおよび識別用イメージを該用紙の表面に印刷する第1の印刷ステップと、前記用紙に印刷された識別用イメージを読み取るイメージ読み取りステップと、当該読み取られた識別用イメージの示す種類内容の裏面用イメージを発生する第3のイメージ発生ステップと、当該発生された裏面用イメージを前記用紙の裏面に印刷する第2の印刷ステップとを具えたことを特徴とする。

【手続補正 29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 31】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 32】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 33】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 34】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 35】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

図5は住所録のデータベースの内容を示す。住所録のデータベースの内容は、周知の表計算ソフトあるいは、葉書印刷用ソフトやカード作成ソフトに付随したソフトにより作成、編集（設定）可能である。たとえば、郵便番号500、住所501、氏名502などを可変しながら、図6に示すカードの表面を連続印刷することができる。より具体的には、データベースに記載された個人情報に基づいて印刷すべき文字イメージがOS（オペレーティングシステム）により発生される。また、項目、裏面タイプ503は、各表面に対応する図7、図8、図9の裏面デザイン（裏面に印刷するイメージ）の種類内容を番号（本発明の識別情報）により管理したもので、表裏一致パターン504（本発明の識別用イメージ）に対応する。つまり、ホストコンピュータは、データベースの裏面タイプ503から表裏一致パターン504を自動発生し、図5の個人情報のイメージ（郵便番号、住所、氏名等の文字イメージ）の表面デザインに付加して印刷させる。

【手続補正 36】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

2）上述の実施形態では、1台のプリンタにより表面印刷および裏面印刷を行ったが、表面の印刷と裏面の印刷を2台のプリンタにより別個に行ってもよい。また、ホストコンピュータも表面用および裏面ように2台用意してもよい。

【手続補正 37】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

4）上述の実施形態では住所録に記載された個人情報を表面の用紙に印刷したが、住所録に限ることはない、表面に印刷するイメージは、写真、図形、文字コードから変換したイメージ、作画コマンドにより作成したイメージなど各種とすることができる。また、本発明で言うカードの概念の中には、葉書等あらゆる文書の形態のものを含む。

【手続補正 38】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項1～16の発明によれば、裏面に印刷すべきイメージの種類内容を示す識別用イメージが印刷されるので、この識別用イメージの示す種類内容に基づいて裏面用イメージを印刷することにより、表面印刷済み用紙の順番を間違えても裏面用イメージを確実に印刷することができる。